

故障かな？と思ったら

このような時	チェックしてください	処 置
リモコンで操作出来ない。 (警報ONあるいは警報OFF出来ない。)	車のバッテリーが弱っていませんか？	車のバッテリーを点検し、正常な状態にしてください。
	ヒューズが切れていませんか？ (メインハーネス・ヒューズユニット)	ヒューズ切れの原因を解決してから、ヒューズを交換してください。
	本体へ電源が投入されていますか？	メインハーネスの赤コードとヒューズユニットを確実に配線してください。黒コード（ボディーアース線）の接続を確実にしてください。
	アンテナ線が車体の金属部に接触していませんか？ また、まっすぐに伸ばした状態で固定されていますか？	アンテナ線（黒コード）を金属部に接触しないように正しく固定してください。
	リモコンを手で包み込んでいませんか？	リモコンからの送信電波がきちんと飛ぶようにリモコンを手で包みこまないようにして操作してください。
	リモコンの電池が切れていませんか？	新しい電池に交換してください。
勝手に警報する。	無線局、変電所等、リモコンの電波と干渉するものが近くにありませんか？	出来る限り車に近づいて操作してください。
	ドアスイッチ入力線（茶コード）が車体の金属部に噛み込んでいませんか？	ドアスイッチ入力線が内張り等に挟み込まれたりして、車体の金属部とショートしていないか確認してください。
	ドアスイッチ入力線（茶コード）の配線先が間違っていますか？	配線先を確認してください。（P.10参照）
	振動センサーがしっかりと固定してありますか？	固定状態を確認してください。
	振動センサーの感度が高すぎませんか？ 周囲に外乱振動を起こすようなものがありますか？	感度を下げてください。 周囲を確認してください。
ドアを開けても警報しない。	ドアスイッチ入力線（茶コード）の配線先が間違っていますか？	配線先を確認してください。（P.10参照）
	ドアスイッチ入力線（茶コード）はしっかりと配線されていますか？	接触不良のないよう正しく確実に配線してください。
振動を与えても警報しない。	警報機が監視モードになっていますか？	LEDユニットがスキャンング点滅を始めてから確認してください。
	警報機が誤動作防止モードになっていませんか？	連続で振動を感知させると、本体が誤動作と判断し、警報をキャンセルする場合があります。この場合は一旦OFFしてから、再度、動作させてください。
	警報機が「ドアスイッチステージ」に設定されていますか？	警報機を一旦解除し、再度動作させてから確認してください。
	振動センサーは車体への振動が確実に伝わる場所に取り付けられていますか？	振動センサーの設置位置を確認してください。（P.10参照）
	振動センサーの感度が低すぎませんか？	感度を上げてください。
	振動センサーと本体が確実に接続されていますか？	振動センサーと本体それぞれのコネクタを確実に接続してください。
LEDユニットが動作しない。	LEDユニットと本体が確実に接続されていますか？	LEDユニットのコネクタを本体に確実に接続してください。
サイレンが吹鳴しない。	サイレンの赤コードが確実に接続されていますか？	サイレンの赤コードとメインハーネスの橙コードを確実に接続してください。
	サイレンの黒コードが確実に接続されていますか？	サイレンの黒コードを車体の金属部に確実に接続してください。
車載ホーンで警報しない。	ホーン出力配線が正しく配線されていますか？	正しく配線してください。（P.13～14参照）
	ホーン警報機能が使用できない車ではありませんか？	付属のサイレンにて警報させてください。